

ビジネスユニット別概況

RDP

リコーデジタルプロダクツ



中田 克典
リコーデジタルプロダクツ
ビジネスユニット プレジデント

Message from Business Unit President

圧倒的な商品力、品質および安定供給によりデジタルサービスの成長に貢献

RDPは、競争力のあるエッジデバイスを開発し、リコーグループの利益拡大に貢献していきます。サプライチェーン広範に影響を及ぼすような大きな有事が発生・長期化した場合でも、製品供給を停滞させることなく、早急に通常のオペレーションに戻せるレジリエントな体制の構築を進めています。

また、2022年度にリコーグループに加わったPFUは、紙文書をデジタル化する業務用スキャナーで世界No.1のシェアと顧客基盤を誇ります。これまでリコーがリーチできなかったお客様にアクセスできるPFUのチャンネルを活用して、スキャナー

事業とエレクトロニクス事業の拡大に取り組みます。今後も、製品の共同開発や部品の共通化など、多方面でのシナジー創出活動を加速させていきます。

事業の特徴・強み

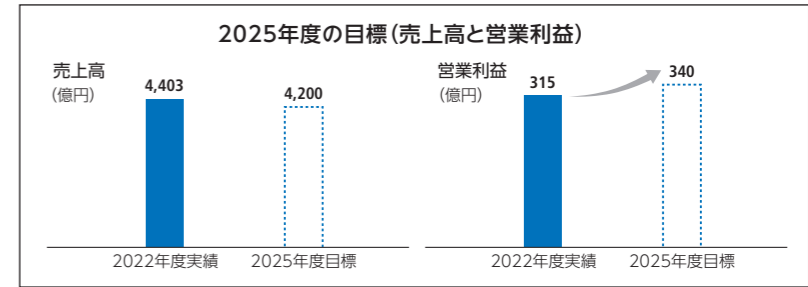
- 世界トップクラスのシェアを有するオフィス向け複合機をはじめ、プリンター、印刷機、広幅機、スキャナー、ネットワーク関連など、お客様の“はたらく”をサポートするエッジデバイスを開発・生産
- 事業部体制を通じて事業ごとに企画から生産までの一貫生産体制
- 徹底的な体質強化により、多様化するお客様ニーズ・市場変化に対応し、プリンティング領域におけるリーディングカンパニーのポジションを確立
- お客様とデジタルサービスをシームレスにつなぐタッチポイントとなるエッジデバイスを提供し、ワークフローを変革

事業推進上のリスクと機会

プリンティング市場は縮小傾向が続き、グローバルの市場規模は、2021年から2025年にかけての4年間で10%以上減少すると見られています(リコー調べ)。その中でも、特にトナーなど消耗品の下落が大きいと予測しています。このような事業環境においては、より一層競争力の高い商品を安定的に供給することが不可欠です。

リスク
● リモートワークの増加やペーパーレス化に伴うプリント出力の減少
● 原材料価格の高騰
● 物流の混乱

収益機会	
● 新たな販売チャンネルの活用	● 音声・映像のデジタル化ニーズ拡大
● 業種・業務に特化したサービス提供	● 組込みコンピューター市場の拡大
● セキュリティ強化の要請	● 環境対応製品へのニーズ拡大



中長期の課題と21次中経の戦略

課題	戦略的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● お客様のワークスタイルに合わせて、デジタル化の支援を強化 ● 産業分野などの現場向けのエッジデバイスを進化させ、新たな価値を創造・提供し事業領域を拡大 	<p>世界一の商品を提供</p> <p>リコーのエッジデバイスとデジタルサービスで、ドキュメント、映像、音声などのデータに関するワークフローの一元的なサポート力を強化します。複合機やプリンターでの紙文書出力に始まり、スキャナーによるデジタル化、RICOH kintone plusやDocuWareなどのワークフローサービスでのドキュメント活用まで、一連のワークフロー改善につなげます。画像および音声データについては、RICOH Meeting 360(360度カメラ搭載のWeb会議デバイス)やRICOH Interactive Whiteboard(電子黒板)、RICOH Portable Monitorを活用することで、お客様の働き方改革に貢献します。</p> <p>新たな販売チャンネルを活用した顧客拡大</p> <p>2022年度に株式取得したPFUが持つチャンネルを活用し、顧客基盤の拡大および幅広いお客様との接点を活かすことで新たな価値創出に取り組みます。今までリーチできなかった領域でお客様のニーズを把握することで、業務特性に応じた製品の提供を進めます。</p> <p>業界協業をリード</p> <p>リコーグループは業界トップクラスの競争力を誇る複合機や、周辺機、トナーを強みに、サプライチェーン全般において業界協業を積極的にリードします。同業他社との共同購買や工場の相互利用、リサイクルインフラの共有化など、共同構想に取り組みます。</p> <p>現場・産業向けのエッジデバイス進化</p> <p>国内組込みコンピューター市場において、産業など現場の領域で圧倒的なシェアNo.1の地位を確立します。新たにPFUのエンベデッドコンピューター事業との連携で、両社の製品の補完関係を強化、また、重複業務の無駄をなくします。具体的には、両社が互いの商材を拡販することによる売上拡大や商品ロードマップの統合、リソース共有による開発効率化、生産体制の最適化、コストダウン強化などのシナジー施策を進めます。</p> <p>これらに加え、レジリエントなものづくり体制の構築とオペレーショナルエクセレンスの着実な実行を進め、21次中経の目標達成に向けてまい進します。</p>

事業を通じた社会課題の解決

コミュニケーションの共創を促し、ハイブリッドワークを支援

「RICOH Portable Monitor 150BW/150」は、持ち運びしやすい上にタッチ操作も可能な15.6インチのポータブルディスプレイです。150BWは、バッテリー搭載のモデルで、ワイヤレス接続にも対応しています。ハイブリッドワーク環境が日常化した昨今、オフィスや自宅、カフェなどさまざまな場所に持ち運んでの利用が可能です。さらに、商談や打ち合わせの場で紙の資料を配布する代わりに本製品を配布することで、少人数でのコラボレーションを促進するコミュニケーションデバイスとしても活用が進んでいます。

軽量で持ち運びが容易であることやデザインが評価され、フリーア

ドレス化しているお客様のオフィスで共用デバイスとしてご利用いただいています。また、設計部署のオンライン会議では、スタイラスペン*で設計図に書き込みながらのコミュニケーションにご活用いただいています。こうした取り組みを通じて、リコーはお客様の新しいワークスタイルの実現に貢献していきます。

2022年11月に発売したRICOH Portable Monitor 150BW

*スタイラスペンスマートフォンやタブレット端末などのタッチ画面で操作ができるペンのこと